

令和7年度 こども総合支援センター「あのえっと」の相談実績について

1 設置の経過

令和4年4月、子どもに関わる様々な相談（育児、発達、不登校、いじめ、虐待等）にワンストップで対応し、相談の内容により関係機関との調整・つなぎ役を担うため、こども総合支援センターを設置した。従来のこども相談室の業務に加えて、教育センターで教育関係の相談にあっていた指導主事や公認心理師等を配置し、体制を整えた。

令和7年度は、設置から4年目となった。

2 相談の実績

(1) 相談件数

(件)

相談の方法	相談の方法	電話	面談	メール	LINE	合計
令和7年度	件数	1,059	130	17	218	1,424
	内連携数	245	69	7	43	364
令和6年度	件数	825	107	31	/	963
	内連携数	194	52	13		259
令和5年度	件数	958	105	41		1,104
	内連携数	341	64	18		423
令和4年度	件数	1,099	93	11		1,203
	内連携数	325	34	8		367

・LINEによる相談：令和7年5月15日開始

(2) 相談内容

(件)

分類	育児全般	発達関係	学校関係	不登校	家族関係	幼・保育園	食・健康	虐待	いじめ	その他	合計
令和7年度	125	159	192	144	260	51	49	9	31	404	1,424
令和6年度	61	72	155	82	243	30	46	5	7	262	963
令和5年度	88	104	95	168	306	24	37	15	26	241	1,104
令和4年度	157	142	132	98	63	56	29	16	14	496	1,203

・不登校が増加、育児全般、発達関係も増加している。(令和7年度)

・不登校、いじめの相談は減少、学校関係の相談が増加した。(令和6年度)

・不登校、登校しぶりの相談が増加した。(令和5年度)

(3) 相談対象者の内訳 (件)

対象者	乳幼児	小学生	中学生	高校生	19歳以上	不明・その他	合計
令和7年度	376	490	242	172	4	140	1,424
令和6年度	190	444	153	101	2	73	963
令和5年度	249	506	151	101	0	97	1,104
令和4年度	407	540	104	56	17	79	1,203

- ・LINE相談では乳幼児にかかる相談が約半数であり、全体に乳幼児の相談が増加した。
- ・その他には子どもに無関係の電話が含まれている。(令和7年度)
- ・約半数が小学生に関する相談で、次いで乳幼児に関する相談が多い。(令和6年度)

(4) 相談者の内訳 (件)

相談者	保護者	関係機関	こども本人	その他	合計
令和7年度	1,093	94	134	136	1,457
令和6年度	731	88	91	86	996
令和5年度	813	163	34	122	1,132
令和4年度	983	69	7	156	1,215

- ・保護者からの相談が約75%を占める。
- ・こども本人からの相談が増加しているが、同一人が多い。

(5) 情報提供、情報共有、連携支援等機関 (庁内所属は除く)

発達相談支援センター、教育・保育施設(学校・保育園・幼稚園・認定こども園等)、
ながの若者サポートステーション、県中央児童相談所、県中央警察署、県教育委員会
国際交流センター、市内外医療機関 等

3 発達支援事業

(1) すくすく相談

乳幼児の精神・運動発達や言語発達について、保護者の疑問や不安について相談に応じ、対象児に適した対応の方法や次の支援の場を紹介する。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
延べ件数(件)	181	162	169	160	136

(2) すくすく広場 概ね月1回開催

乳幼児健康診査、2歳児健康教室等の結果、精神・運動発達、言語発達、社会性やコミュニケーションの発達、親子関係等において経過観察が必要と認められた未就園の幼児と保護者に参加を促し、保護者が児の特性を理解し、安定した親子関係を築くために、継続した発達相談、保健相談、育児相談を行う。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実施回数(回)	75	108	118	120	118

(3) あそびの教室 概ね週1回開催

精神・運動発達、言語発達、社会性コミュニケーションの発達、及び親子関係において何らかの問題が心配される幼児に対し、安定した親子関係への支援、生活全般への支援、特性や障害の理解、受容への支援、関係機関との連携の支援を行う。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実施回数(回)	177	190	190	190	142

(4) にこにこ園訪問

発達に支援が必要な園児について、関係機関と連携し園や保護者に対して相談・支援を行う。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
訪問延べ回数(回)	561	681	723	756	846
延べ園児数(人)	894	926	977	1,009	1,038

(5) 乳幼児発達健診

精神・運動発達、言語発達、行動面において発達に何らかの課題があると思われる乳幼児に対し、診察等を行い早期支援と合わせて二次障害の予防を図る。子どもの持つ特性や課題を、医学的立場から明らかにしアドバイスすることにより、保護者の育児支援や保育的な環境を整える。

令和7年度 小児科医師による診察 26回

言語聴覚士による言語相談 39回 (各年間40回予定)

(6) はぐくまファイル(長野市サポートブック)の作成

発達に支援を必要とする子供の成育歴や医療、療育、教育の情報を保護者が記録・整理し、支援に関わる関係者が子どもの情報を共有することで継続した支援が行えるように配布。

平成27年度に関係課・関係機関と協力して作成し、平成28年から配付

令和6年度 配布数 94冊

令和7年度 配布数 94冊 (配布開始からの累計 1,547冊)

(7) 親子関係スキルアップ講座

子育て方法等のスキルアップを図るため、子育てに悩みや難しさを感じている保護者を対象に、子どもの行動の理解や子どもとの接し方、自分自身をコントロールする方法等を学習する講座（ペアレント・トレーニング）を開催する。

対象者 3歳から概ね10歳までの子どもを持つ保護者

内容（令和6年度）

①観察上手になろう ②ほめ上手になろう

③伝え上手になろう ④聞き上手になろう（各20人定員）

4回シリーズを3コース実施

参加人数延べ 112人（令和5年度 延べ115人）

（令和7年度）

内容、定員は令和6年度と同様

新たに託児（2名）を設ける

1コース	6/11, 6/25, 7/9, 7/23	申込5/14から	のべ参加者数	46人
2コース	10/15, 10/29, 11/12, 11/26	9/10から	のべ参加者数	55人
3コース	1/21, 1/28, 2/4, 2/18	12/10から	のべ参加者数	23人